



## 第 60 回通常総会開催 酪農ヘルパー事業受益者の利用料金等 負担軽減支援を継続実施!!

(一社) 広島県酪農協会(会長 岩竹重城) は、4 会員全員の出席を得て役員会、通常総会を開催し、上程した平成 25 年度事業報告並びに収支決算、酪農ヘルパー事業円滑化対策事業業務方法書の一部変更等、合計 5 つの議案全てを可決した。



### 1.平成 25 年度財産目録・正味財産期末残高

▼資産総額は、普通預金、定期預金など 133,572 千円、負債総額は 132,248 千円、正味財産は 1,324 千円。

### 2.酪農ヘルパー事業円滑化対策事業業務方法書の一部変更による受益者負担軽減策

▼酪農ヘルパー事業利用者の料金負担を軽減するための手段として、平成 4 年度から国、県、生産者団体による基金造成「酪農ヘルパー円滑化対策事業(当時の基金総額 3 億円)」によって支えて来ましたが、この内、平成 25 年度末の国基金の残額分総ては国からの返還指示に応じることとした。

▼平成 26 年度からは、広島県、生産者団体の基金残額をもって酪農ヘルパー事業を継続支援するため「酪農ヘルパー円滑化対策事業業務報告書の一部変更」を行うとともに、国基金からの補助金受取に見合う対応に関しては、新たに(独)農畜産業振興機構の「酪農経営安定対策補完事業(酪農経営安定化支援ヘルパー事業)」に取り組み、酪農ヘルパー事業の利用者を支援することとした。

### 3.役員改選

▼新たに理事に鈴木道弘氏、下岡正宏氏、監事に大上浩也氏、三浦貴美子氏が就任。沖正文氏、隅屋寒三氏の両理事、柿原徳則氏、河上康則氏の両監事は、今回の総会をもって退任した。

## 通常総会を開催 委員長に藤岡辰彦氏再任



広島県酪農政治連盟(委員長 藤岡辰彦) は、4 会員全員の出席のもとに平成 26 年度通常総会を開催。上程議案の、平成 25 年度活動報告並びに収支決算、平成 26 年度活動計画案並びに収支予算案、役員改選など 5 つの議案の全てを可決した。

役員任期満了に伴う役員改選では、委員長に藤岡辰彦氏、副委員長に岩竹重城氏、鈴木道弘氏が就任。日本酪農政治連盟の中央委員として藤岡辰彦委員長の再任も決定した。

当総会の終結をもって、沖正文委員、隅屋寒三委員、柿原徳則監事、河上康則監事が退任された。

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ -その60-

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC メール配信サービス登録受付中(隔週水曜日配信) 無料

日本公庫農林水産事業では、「農業景況調査」などの独自調査結果や最新金利など皆さまの経営のお役に立つ様々な情報をメール配信サービスにて提供しています。ホームページ(<http://www.jfc.go.jp/a/mailservice/index.html>)から、ご登録ください。

メール配信サービス4つの特徴

POINT 1 「農業」や「食」に関する独自調査結果をご提供

全国の農業者(約2万先)を対象とした「農業景況調査」のほか、食品企業(約7000社)、消費者(2000人)などを対象とする動向調査(それぞれ年2回実施)の結果をご提供します。

POINT 2 日本公庫の最新情報をご案内

新たな資金制度や毎月改定される金利情報、プレス発表している日本公庫の最新の動きをご案内します。

POINT 3 豊富な農業技術情報が入手できます

農業技術の専門家である日本公庫のテクニカルアドバイザーが、農業・食品分野に関する最新技術情報を「技術の窓」でお伝えします。

POINT 4 情報満載の定期刊行物が閲覧できます

日本公庫が発行する月刊誌「AFCフォーラム」や「アグリ・フードサポート」の最新号をはじめ、バックナンバーもダウンロードして、ご覧いただけます。

※このほか、皆さまのお役に立つさまざまなコンテンツをご用意しております。

メール配信サービス(無料)の登録手順

下記のアドレスへアクセスして、ご登録をお願いします。

日本公庫農林水産事業メール配信サービス <http://www.jfc.go.jp/a/mailservice/index.html>



1 「お申し込み」のアイコンをクリック



2 必要事項を入力し、「登録」のアイコンをクリック



3 登録内容を確認し、「送信」をクリックして完了

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。  
⇒[http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html)

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階  
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(8月は6日と20日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(8月は7日と21日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(8月は8日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

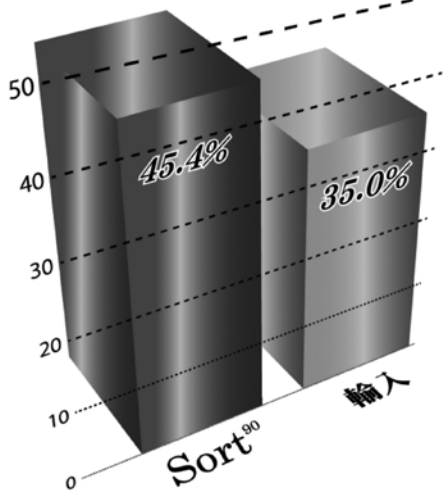
※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



## sort90 の高受胎率を再確認!!

当事業団は、新しく開発したストロー充填技術\*1(二層式新ストロー:特許申請中)を性選別精液(Sort90)にも適用し、従来型ストローに比べて大幅に受胎率が向上することを実証しました。最近、マスコミ等でも報道されましたので、記事をご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。

● Sort<sup>90</sup>と輸入性判別精液の受胎率



# 10.4%High

平成24年1月から平成26年2月にかけて調査した二層式新ストローを用いたSort<sup>90</sup>と輸入性判別精液の受胎率を比較したところ、輸入性判別精液よりも二層式新ストローを用いたSort<sup>90</sup>の方が10.4%も高いことが明らかとなりました。

家畜改良事業団では、Sort<sup>90</sup>の生産に二層式新ストローを導入し、皆様にご利用いただいています。

近年、ホルスタイン種の受胎率が低下している中、当事業団ではこの状況改善に向けた試験研究を重ねてきました。この新ストロー充填技術は、通常の精液を用いて未経産牛から経産牛まで人工授精し、受胎率は従来型ストローと比較して5.9%高いことが確認され、この技術を平成22年度から性選別精液にも導入してきました。

この二層式新ストローの詳細は特許申請中のため説明できませんが、希釈液の変更などを行って改良しています。

今般、平成19年2月から26年2月までのホルスタイン種における受胎モニタリングの成績をまとめた結果、従来型ストローと比較して二層式新ストローの受胎率が、未経産牛では46.7%から52.7%にアップ、経産牛でも32.5%から38.9%にアップと、平均で6.1%向上することを確認しました。

二層式新ストローのSort90は経産牛においても、性選別していない通常の凍結精液を用いた場合の受胎率と遜色のないレベルにあります。こういった種雄牛が二層式新ストローの対象になっているかと言いますと、実は平成23年の秋ごろから供給をしており、近年選抜された種雄牛の選別精液はすべてこの二層式新ストローになっています。

また、産次数などでの比較ができなかったため全体の受胎率の比較になりますが、輸入の性判別精液と比較すると10.4%も高いことも当団が調査した結果判明しています。受胎率が低いとイメージのある性判別精液ですが、受胎率を確保しつつ後継牛の生産を考えていらっしゃる方はぜひ当団のSort90のご利用をお勧めいたします。

家畜改良事業団では、この結果を踏まえ、今後、二層式新ストローを使った性選別精液について、ホルスタイン種に加え、黒毛和種のSort90の供給も充実させていきます。またホルスタイン種の通常精液でも一部種雄牛で2層式のものがありますのでお問い合わせください。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868 - 57 - 2475)四宮までお問い合わせください。